

口腔機能低下症 予防への取り組み

楽しいちデイサービス 歯科衛生士 畑山君子
言語聴覚士 伊藤栞

★本日の発表内容について

1. 口腔機能向上加算と口腔機能低下症について
2. 新たな楽いちでの取り組みについて
3. 今後の展望について
4. まとめ





1.1) 口腔機能低下症とは？

- ・加齢だけでなく、疾患や障害など様々な要因によって、口腔の機能が複合的に低下している疾患。

☞ 放置しておくと、咀嚼機能不全、摂食嚥下障害により全身的な健康を損なう。

要介護状態へ移行する原因となりやすく、
個々の状態に合った**早期の対応**が必要となります。



2) 口腔機能向上加算について



◇算定の目的

口腔機能が低下している利用者、または、その恐れのある利用者に対し、**利用者の口腔機能の向上を目的**としており、高齢者に個別で、口腔清掃の指導や、摂食・嚥下機能に関する訓練...etc

◇単位数

1月に2回までを上限とし、1回150単位を算定可能。

口腔機能向上プログラムの参加率向上に関する要因の検討^(伊藤ら¹⁾)

スクリーニングで確認された二次予防事業対象者の口腔機能向上プログラムの参加率が低い。

↓
その要因について検討しよう！

東京都、神奈川県、新潟県、愛知県

↓
歯科衛生士を派遣し、介護予防プログラムへの参加を促す。(2008年4月～9月)

【結果】

- 第1位:「やったって意味がない」
- 第2位:本人や家族が必要性感じていない
- 第3位:歯科に通院しているから不要



口腔機能向上加算の算定実態について²⁾

全国の通所系サービスでの、口腔機能上加算の算定実態が把握できていない…。



算定実施体制や算定者数を明快にしよう！

口腔機能向上加算
算定施設数

293/550

算定をしない理由

- 1位：人材不足
- 2位：サービスが必要と思われる利用者が居ない
- 3位：利用者が希望しないため



2. 新たな楽しいちでの取り組みについて

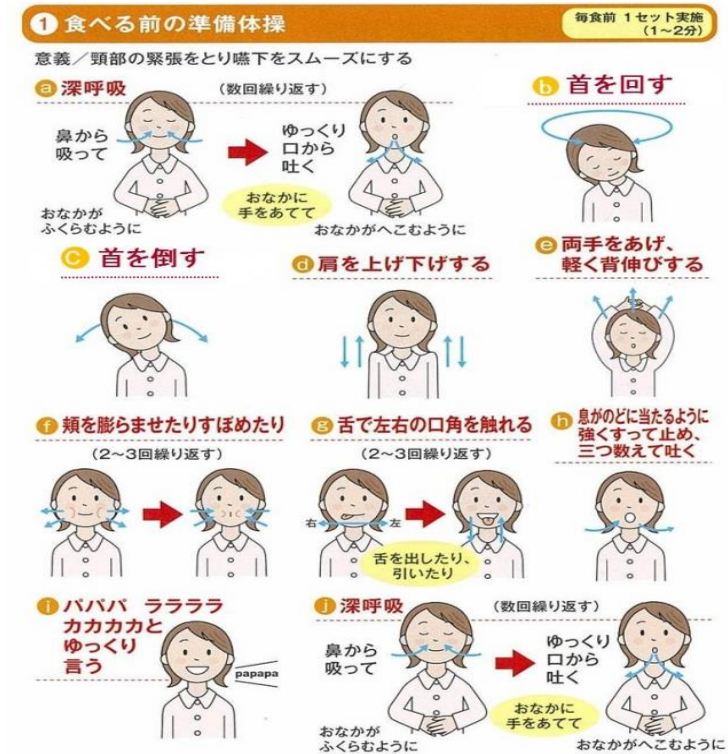
1) 昼食前の口腔体操

- ・藤島式嚥下体操の実施 (20分間)

2) 広報活動について

- ・チラシを配布

☞ ケアマネ・利用者様とそのご家族に向けて配布



ケアマネ・利用者とそのご家族向けチラシ

知らないと怖い「**口腔機能低下症**」とは？
～「人は口から老いる」という新しい概念～

様々な疾患や障害によって、
・舌の動かしづらさ
・噛む力が弱くなる
といった症状が出現します。



そのままにしておくと・・・
立つ、歩くといった身体機能を
低下させる恐れがあります！

いつの間にか、口腔機能が低下しているかも・・・？
以下の症状に心当たりはありませんか？

- ◇最近、硬い物が食べにくいと感じる。
- ◇最近、ご飯を食べる時にムセやすくなった。
- ◇最近、会話中に聞き返す・聞き返される事が多い。
- ◇3ヶ月以内で体重が3kg以上減った。
- ◇食べる量が減った。

(例: ご飯茶わん半分しか食べれない、3食食べても量が少ない)

心当たりのある方は、表の連絡先までご連絡を！



◇チラシの裏面には、チェックシートを記載。

◇口腔機能低下症のチェックが出来る。



3)定期開催されている口腔ミーティング

- ・金曜日の14:30～15:30の時間帯で実施。

- ☞ **多職種(PT/OT、Ns、相談員、介護職員)**も適宜参加。

- ☞ 口腔機能向上加算のプラン検討、症例検討や評価結果共有。

4)勉強会の実施

- ・口腔機能や摂食嚥下障害における**勉強会の実施**。



3. 今後の展望について

- ・昼食前の口腔体操

 - ☞ 個々の**口腔機能に合った小集団体操**の提案と実施！



- ・広報活動について

 - ☞ **積極的な問題提起**を！

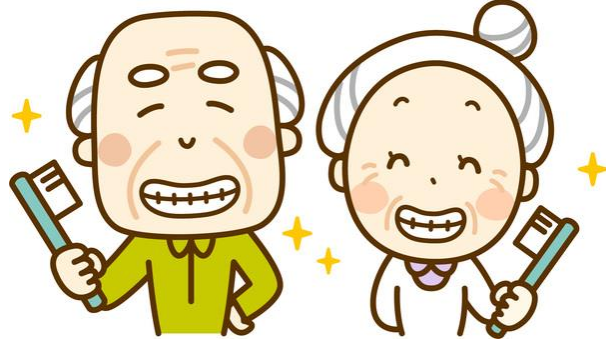


- ・勉強会の定期開催

 - ☞ **職員向けの勉強会**の実施回数を増大する！



4. まとめ



- まだまだ「**口腔機能の低下＝身体機能の低下**」という方程式が出来ていない。
- 「**口腔機能の改善の意義**」について、非常に有益であることを利用者、関連職種、施設職員にも啓蒙し続ける。
- 利用者満足度を上げ、**口腔機能向上加算の算定者増加に努めていきたい。**

参考文献

- 1)伊藤 奏, 相田 潤, 若栗真太郎, 野口 有紀, 小坂 健:口腔機能向上プログラムの参加率向上に関する要因の検討, 老年歯学会第 27 巻第3号, 285-290, 2012.
- 2)独立行政法人 国立健康・栄養研究所:通所系介護サービス施設における口腔機能向上サービスおよび栄養改善サービス提供のあり方に関する調査研究事業, 2014.